

iOS用 Temp Logger 取扱説明書

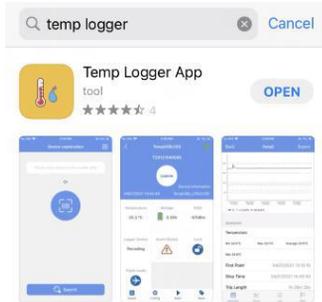
- 「Temp Logger」は、スマホ用の無料アプリケーションです。
- TempU06シリーズのロガーをスマホとBluetoothで接続し、ロガーの設定、データを送信・記録することができます。
- Bluetooth Low Energy (BLE)を通して、スマホで温度、湿度を監視することができます。

1. ブルートゥースをオンにする

ロガーの開始ボタン(START/VIEW/MARK)と停止ボタン(STOP)を3秒以上同時に押し続けると、赤LEDが点滅し、マークがLCD画面に表示されます。

2. アプリをダウンロードする

右のQRコードを使用するか、Apple App Storeで「Temp Logger」を検索してダウンロードしてください。



3. デバイス登録

3.1 アプリを開き、ロガーの正面のシール上に記載されているデバイスIDを入力欄に入力するか、スマホ中央のバーコード読み取りアイコンをクリックして、読み取り画面に移動し、バーコードをスキャンしてデバイスIDを読み取って、「Device registration」画面(Fig.1)で登録します。

Fig.1



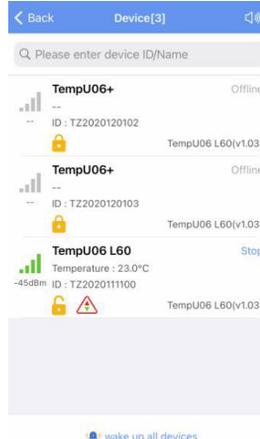
3.2 接続画面(Fig.2)に入り、「Connect」をクリックします。接続に成功すると、「Device」画面(Fig.3)にデバイスIDが表示され、ロガーが正常に登録されたことを示します。

なお、登録済みのロガーでは、ブルートゥースを起動して、Fig.1の **Search** を押し、接続に成功すると「Device」画面(Fig.3)が表示されます。

Fig.2



Fig.3



4. Device 画面

Device Registration画面右上のアイコンをクリックすると、メインメニュー(Fig.4)が展開されます。メニューから「Device」をクリックすると、「Device」画面(Fig.3)に入ることができます。「Device」画面の機能は以下の通りです。

Fig.4



4.1 デバイス情報を見るには

登録したすべてのデバイスの名前、状態、温度データ(Temperature)、湿度データ(Humidity)、デバイスID、アイコンを表示します。(Fig.3)

アイコンの説明

ロック解除:  レベル1アクセスキー:  レベル2アクセスキー: 

高温アラーム:  低温アラーム:  高温・低温アラーム:  ロガーをPCに接続中: 

注意:すでにPCに接続されている場合、ブルートゥースで接続することはできません。

4.2 デバイスを削除する

Delete が出るまで領域を左にスライドしてデバイスを削除します。(Fig.5)

Fig.5



4.3 フライトモードでのロガーの起動(Fig.5)

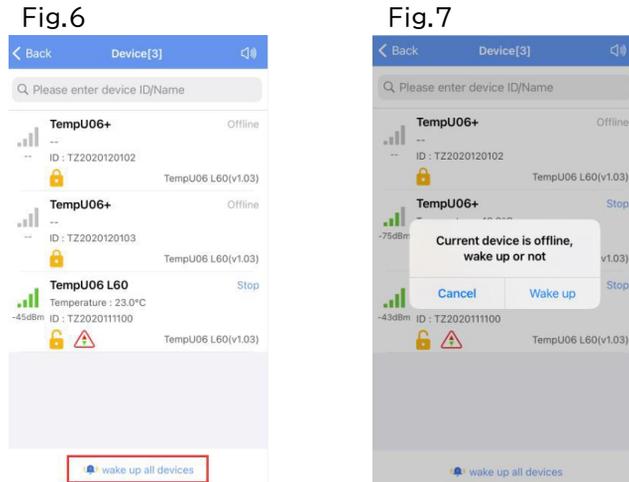
A:1台のロガーを起動するには、ロガーの説明領域を短くクリックします。

B: 下方の「Wake up all devices」をクリックすると、表示されているすべてのロガーが起動します。

4.3 フライトモードでのロガーの起動

A: 1台のロガーを起動するには、ロガーの説明領域を短くクリックします。

B: 下方の「Wake up all devices」をクリックすると、表示されているすべてのOfflineのロガーが起動します。(Fig.6) ポップアップした確認画面「Current device is offline, wake up or not」で「Wake up」をクリックして確定します。(Fig.7)



4.4 アラーム

ロガーが予め設定された上限値または下限値を超えると、アラーム(Alarm)画面がポップアップし、アラーム音が鳴ります。「Close Alarm」をクリックするとアラーム画面が消え、アラーム音が止まります。(Fig.8)

Fig.8

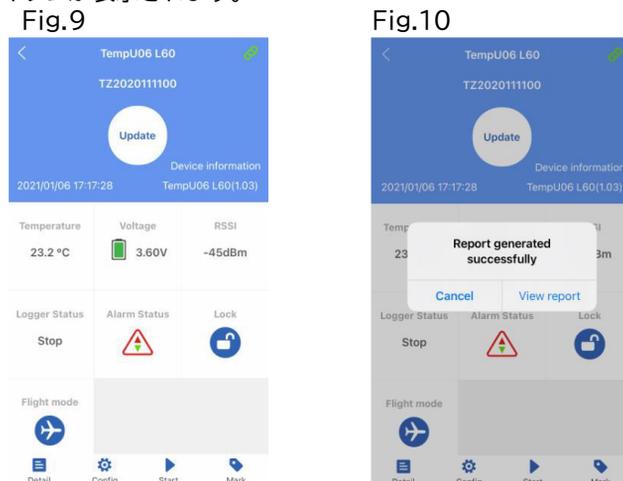


5. ロガーの接続

Fig.6のロガーの表示領域をクリックすると、ロガーの温度(Temperature)、電圧(Voltage)、受信信号強度(RSSI)、ロガーの状態(Logger Status)、アラームの状態(Alarm Status)、ロック(Lock)の状態が表示される接続(Connect)画面が現れます。

「Connect」をクリックし、ロガーが正常に接続されると、更新(Update)画面(Fig.9)にジャンプします。

レポートを閲覧するかどうかを確認する「Report generated successfully」画面がポップアップするか(Fig.10)、ロガーのアクセスキーとフライトモード(Flight mode)の状態が表示されます。画面の下部に詳細(Detail)、設定(Config)、開始(Start)、マーク(Mark)のボタンが表示されます。



注意:ロガーは接続でデータを更新しません。デフォルトで、ロガーは1分後に切断され、下部の4つのボタンは灰色になり、再度クリックすることはできません。

5.1 ロガーのアクセスキー

アクセスキー (Access Key) をクリックすると、ロガーへのアクセスを暗号化するレベル1とレベル2のアクセス・キーを設定できます。

5.2 フライトモード

フライトモード (Flight mode) をクリックすると、ロガーはブルートゥースを遮断しフライトモードに入ります。フライトモードを終了するには、デバイス (Device) 画面で起動を試みるか、ロガーの「開始」ボタンと「停止」ボタンを同時に3秒間押してください。

5.3 詳細とEメール機能

A: 詳細 (Detail) をクリックすると、詳細 (Detail) 画面が表示されます。(Fig.11~13)

まとめ (SUMMARY)

温度 (Temperature): 最低 (Min)、最大 (Max)、平均 (Average)、平均動態温度 (Mkt)

開始日時 (First Point)

終了日時 (Stop Time)

記録時間 (Trip Length)

記録数 (Number of Points)

ロガー情報 (DEVICE INFORMATION)

ロガーの名称 (Device name)

ID

ファームウェアのバージョン (Firmware version)

アラーム (ALARM)

アラーム上限、下限温度 (Alarm condition)

アラーム発生数 (Number of Violation)

アラーム状態 (Status)

レポート情報 (REPORT INFO)

開始遅延 (Start Delay)

記録間隔 (Log Interval)

開始方法 (Start Mode)

停止方法 (Stop Mode)

説明 (Description)

Fig.11

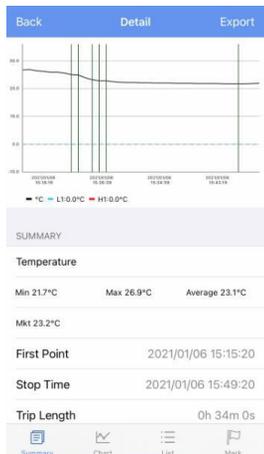


Fig.12



Fig.13



Export をクリックすると、PDFとCSVのレポートが作成され、指定されたメールボックスにEメールで送信されます。
注意: Eメールを送信するには、スマホにメールアプリとログインアカウントが必要です。

B: グラフ(Chart)をクリックするとグラフが表示されます。(Fig.14)

C: リスト(List)をクリックすると、レポートの一覧表が表示されます。(Fig.15)

D: マーク(Mark)をクリックすると、マークしたポイントの一覧表が表示されます。(Fig.16)

Fig.14

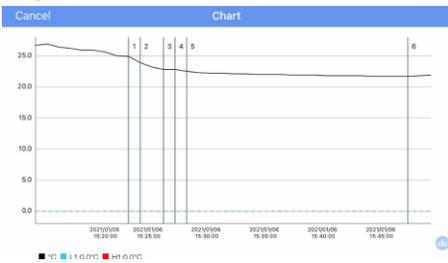


Fig.15

NO.	Date	Temperature
1	2021/01/06 15:15:20	26.7°C
2	2021/01/06 15:16:20	26.9°C
3	2021/01/06 15:17:20	26.4°C
4	2021/01/06 15:18:20	26.2°C
5	2021/01/06 15:19:20	25.9°C
6	2021/01/06 15:20:20	25.9°C
7	2021/01/06 15:21:20	25.6°C
8	2021/01/06 15:22:20	25.0°C
9	2021/01/06 15:23:20	24.9°C
10	2021/01/06 15:24:20	23.9°C
11	2021/01/06 15:25:20	23.2°C
12	2021/01/06 15:26:20	22.8°C
13	2021/01/06 15:27:20	22.8°C
14	2021/01/06 15:28:20	22.5°C
15	2021/01/06 15:29:20	22.3°C

Fig.16

Number	Type	Description	Time
1	Mark	Mark	2021/01/06 15:23:20
2	Mark	Mark	2021/01/06 15:24:20
3	Mark	Mark	2021/01/06 15:26:20
4	Mark	Mark	2021/01/06 15:27:20
5	Mark	Mark	2021/01/06 15:28:20
6	Mark	Mark	2021/01/06 15:47:20

6. ロガーの設定

接続後、ロガーが記録を開始しない場合、設定(Configure)をクリックしてロガーの設定をすることができます。

6.1 デバイス名(Device name): 任意で変更可能(15 バイトまで)。

6.2. プロフィール設定(Configuration Profile): 画面の右上にある「+」ボタンをクリックすると、設定情報を保存することができます。保存後は、「Please select configuration profile >」をクリックして、デバイス名から選択することができます。

6.3 温度単位: °C/°Fの選択。

6.4 基本設定(Basic Settings)

A: 記録間隔(Log Interval): 記録間隔の設定(10秒~18時間、デフォルトは10分)。

B: 記録周期(Log Cycle): 設定した記録間隔での最大連続記録日数。

C: 開始遅延(Start Delay): 遅延開始時間の設定(0秒~4.23時間、デフォルトは30分)

D: 開始方法(Start Mode): 記録開始方法の設定。ロガーのボタンを押して開始とタイマーで開始が選択できます(デフォルトは、ロガーのボタンで開始)。

6.5 高度な設定(Advanced Settings)

A: ロガーのボタンの停止機能(Button Stop): 有効/無効の選択(デフォルトは無効)。

B: リピートスタート機能(repeat Start): 有効/無効の選択(デフォルトは無効)。

C: アクセスキー(Access Key): 「Access Key >」をクリックし、設定画面でレベルを選択できます。レベル1は、アクセスキー不要でレポートを見ることができ、レベル2は、正しいアクセスキーを入力後にのみ情報を見ることができます(デフォルトはレベル1)。

6.6 アラーム(Alarm)

「Alarm >」をクリックし、設定画面でON/OFFを選択できます。(デフォルトはOFF)

アラーム設定(Alarm Setting): アラームタイプ(Alarm Type)、アラーム遅延時間(Alarm Delay)、アラーム発生温度値を設定できます(デフォルトはH1、L1のアラーム設定のみオン。アラームタイプは1種類のみ。アラーム遅延は10分、温度は2°C未満~8.1°C以上)。

注意: H1とL1は同時に設定する必要があります。H2またはL2が設定されている場合、H1と L1は同時にオンにする必要があります。

6.7 PDFレポート(PDF Report): レポートの年月日の表示MM/DD/YY HH:MM:SSまたはDD/MM/YY HH:MM:SSの選択(デフォルトはMM/DD/YY HH:MM:SS)

6.8 説明(description): ロガーの説明を記入できます(最大55文字、デフォルトは「Temperature Recorder」)。

Fig17

Fig.18

7. ロガーの開始または停止(Start or stop)

開始(▶Start)をクリックすると、停止(■Srop)ボタンに変わり、スマホでロガーの記録が開始できます。停止(■Srop)をクリックすると、ロガーの記録が停止し開始(▶Start) に変わります。

8. マーキング(Marking)

マーク(Mark)をクリックすると、その時刻と温度値を記録中のレポートにマークします(最大6ポイント)。

9. Data files画面

メインメニュー(Fig.4)の「Data Files」をクリックすると、データファイル(Data File)画面(Fig.19)が表示されます。データファイル画面の機能は以下の通りです。

9.1 1つのデータファイルの詳細画面を表示するには

表示させたいデータファイルの領域をクリックすると、詳細(Detail)画面(Fig.11~13)が表示されます。ファイルに表示される時刻は、データが初めて読み込まれた時刻です。情報は、ロガーが記録を停止するまで、読み取りごとに更新されます。

9.2 データグラフの比較

最大5つのデータファイルをクリックして選択し、**Compare**(比較)をクリックすると、選択したデータファイルのグラフを比較できます。

9.3 データファイルの削除

データファイルをクリックして選択し、**Delete**(削除)をクリックすると選択したデータファイルが削除されます。

10. System Settings画面

メインメニュー(Fig.4)の「System Settings」をクリックすると、システム設定(System Settings)画面(Fig.20)が表示されます。システム設定画面の機能は以下のとおりです。

10.1 デバイスの管理(DEVICE MANAGEMENT)

設定プロフィール(Configuration Profile):6. ロガーの設定画面で保存された設定プロフィールを見ることができます。パスワードを記憶(Remember Device Password):オンにすると、ロガー接続時のパスワード(アクセスキー)が記憶されます。オフにすると接続する度にパスワードの入力が必要です(デフォルトはオン)。

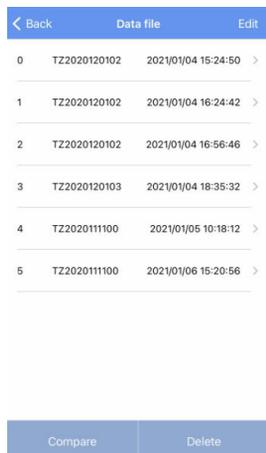
10.2 時刻、タイムゾーンの設定(TIME AND TIME ZONE SETTINGS)

システム初期設定(System Default):オンにするとスマホの時刻に合わせます。オフにすると設定が可能になります。タイムゾーン(Time Zone):アプリおよびロガーのタイムゾーンをレポートに設定するために使用します(デフォルトはシステムデフォルト)。データ書式(Data Format):レポートの年月日の表示MM/DD/YY HH:MM:SSまたはDD/MM/YY HH:MM:SSの選択(デフォルトはMM/DD/YY HH:MM:SS)

10.3 レポート設定(REPORT SETTINGS)

PDFに表形式データを含める(Include Tabular Data in PDF):オンにすると含める。オフで除外(デフォルトは含む)。CSVに表形式データを含める(Include Tabular Data in CSV):オンにすると含める。オフで除外(デフォルトは含む)。

Fig.19



	Back	Data file	Edit
0	TZ2020120102	2021/01/04 15:24:50	>
1	TZ2020120102	2021/01/04 16:24:42	>
2	TZ2020120102	2021/01/04 16:56:46	>
3	TZ2020120103	2021/01/04 18:35:32	>
4	TZ2020111100	2021/01/05 10:18:12	>
5	TZ2020111100	2021/01/06 15:20:56	>

Compare Delete

Fig.20



Back System Settings

DEVICE MANAGEMENT

Configuration Profile >

Remember Device Password

TIME AND TIME ZONE SETTINGS

System Default

Time Zone UTC +8:00

Date Format MM/dd/yy HH:MM:SS >

REPORT SETTINGS

Include Tabular Data in PDF

Include Tabular Data in CSV

Save

10.4 保存(SAVE)

SAVE ボタンをクリックしてシステム設定を保存します。